

さい たま けん すい しょう と しょ
令和
6年度 埼玉県推奨図書



小学校
5・6年生向け

■埼玉県では、青少年のみなさんに
読んでほしい図書を薦めています■

ひと箱本屋と
ひみつの友だち



赤羽じゅんこ／作
はらぐちあつこ／絵
さ・え・ら書房

小学5年生の朱莉は、ひと箱本屋カフェを訪れ、そこで売られていた手作りの本に心をうばわれる。作者は同世代の女の子で、車いすユーザーだった。心のバリアをなくすには、時間を共に過ごし、経験を共に積み重ねることから始まる。友情と同情の境はどこに？

今日も
ピアノ・ピアノ



有本綾／作
今日マチ子／絵
Gakken

小学6年生の海斗。塾に向かう途中、駅にあるピアノで美しい音をつむぐおじさんに出会う。忙しい現代の小中学生に贈る小さな「変化」の物語。ピアノ・ピアノはイタリア語で「あわてず、ゆっくり、少しずつ」の意味。自分のやりたいことを見つけてみては？

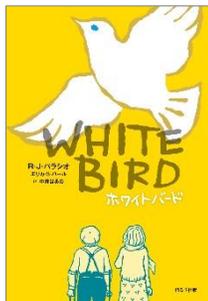
すき、好き、スキ。



イノウエミホコ／作
ふうき／絵
文研出版

小学6年生のワトと胡太は、ミニバスケットボールクラブのOBで高校1年生の高刀翔也くんに憧れている。胡太は自分の感情が単なる憧れてないことに気づく。自分の「好き」と相手の「好き」が同じ種類とは限らないし、「好き」にもいろいろな「好き」がある。

ホワイトバード



R・J・パラシオ／原作
エリカ・S・パール／ノベライズ
中井はるの／訳
ほるぷ出版

ジュリアンが祖母から聞かされたのは、第二次世界大戦下にユダヤ人である祖母が体験した生々しい戦争の物語だった。なぜ、祖母は生き延びることができたのか。「二度と過ちを繰り返さないために、起きたことを知り、語り継いでいく」ことの大切さを訴える。

ケモノたちが
はしる道



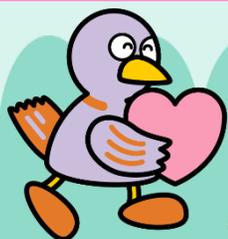
黒川裕子／作
静山社

「熊本のジジさまのところに行って、ケモノを獲るところからその後まで、経験してみない？」母の提案で、おしゃれとゲームが大好きな今どきの中学1年生の千里が、熊本の雄大な山とあたたかい人々にふれ、わな猟を体験するうちに、「命」の重みを知っていく。

都会に住む千里が、全く違う環境の中、わな猟を経験して真剣に「命」と向き合い、「生きている肉」について考えていることに感心した。

初めは人間と同じように生きていた生物だった。しかし、人間によって命を落とされた。生き物の一つの命が亡くなったのだという事実をしっかりと受け止め、命に感謝しながら食することで、死を無駄にしないようにしなければならぬと思う。

所沢市立小手指小学校
6年生



問合せ先：埼玉県 県民生活部 青少年課

✉ a2905-01@pref.saitama.lg.jp

☎ 048-830-2907

埼玉県マスコット
「コバトン」

図書一覧はこちら

